

科目コード S&M021218

科目名	経営戦略特論 Special Course in Business Strategy		選択	2単位
学期・曜日・時限	春・土・集中	-	-	-
担当教員名	百合岡 雅博 東瀬 朗	e-mail		
講義形式	ハイフレックス（教員は学外から講義を実施するが2回程度は講義室から行う場合がある。）※対面履修生は全回講義室から参加			
<p><講義の概要と目的></p> <p>本講義は、経営戦略に関する理論と実務を結びつけ、実際の経営判断に活用できる知識と視点の修得を目的とする。はじめに、基本テキストを用いて経営戦略理論の全体像を再確認する。次に、経営戦略を自律的に理解・整理する力の養成を目的に、「競争」「立地」「時機」という視点から戦略を読み解く。さらに、戦略マネジメントに関するテーマを取り上げ、戦略の実行・運用まで含めた理解を深める。なお、参考書の構成を踏まえつつ、実務上の重要性が高い論点を中心に講義を行う。</p> <p><到達目標></p> <p>本講義を通じて、経営戦略に関する理論や手法を理解するだけでなく、自社または対象企業の戦略を中長期的（5～10年程度）な視点から捉え直し、戦略的課題や選択肢を言語化できる力の習得を目指す。さらに、これらの視点を実務において活用できることを到達目標とする。</p> <p><アクティブ・ラーニング要素></p> <p>本講義では、学生自身が自社または関心のある企業・業界を選定し、講義内容を踏まえた戦略的考察を行うことを重視する。計3回のアウトプットを通じて、戦略に関する気づきや示唆を自ら整理・言語化する。講義内ではアウトプットに対するフィードバックを行い、独力での学修と視点の深化を支援する。</p> <p>これらの成果を基盤として、最終課題の作成を行う。</p> <p><講義計画></p> <p>講義計画は以下の通り。ただし講義の進行状況によっては、講義計画を若干変更する場合がある。</p> <p><5月16日（土）2～4限：経営戦略の基本「ベーシック+（プラス）経営戦略」> （担当：百合岡・東瀬）</p> <p>1回目：（講義）オリエンテーション、戦略の基本・全社戦略 ・要点：経営戦略の概要、全社戦略について説明する。</p> <p>2回目：（講義）経営戦略の役割 ・要点：利益・構造・位置・資源・相手について説明する。</p> <p>3回目：（講義）経営戦略論のフレームワーク ・要点：経営戦略論で用いられる各種フレームワークの目的と役割について説明する。</p> <p><6月13日（土）2～4限：競争：勝つか負けるかの戦略論「実践のための経営戦略論」> （担当：百合岡）</p> <p>4回目：（講義）競争の理論～戦略の変数群～</p>				

・要点：価格競争、数量競争、空間競争について説明する。

5 回目：(講義) 寡占の歴史 ～競争の進化圧～

・要点：規模の経済、範囲の経済、包括の経済について説明する。

6 回目：(講義) 競争戦略論 ～抑止の手立て～

・要点：参入順位、入場料金、変動費用について説明する。

<6月27日(土)2～4限：立地：勝てる土俵を選ぶ戦略論「実践のための経営戦略論」>

(担当：百合岡)

7 回目：(講義) 産業経済学 ～非対称性の源～

・要点：前回課題のフィードバック、業界効果、企業効果、事業効果について説明する。

8 回目：(講義) 立地の優劣 ～利益の稼ぎ方～

・要点：着手基準、継続基準、撤退基準について説明する。

9 回目：(講義) 立地戦略論 ～成長の紡ぎ方～

・要点：黎明期、成長期、成熟期について説明する。

<7月18日(土)2～4限 時機：浮かぶ立地を知る戦略論：「実践のための経営戦略論」>

(担当：百合岡)

10 回目：(講義) 認知の歪み ～愚挙愚行の源～

・要点：前回課題のフィードバック、単独暴走、集団暴走、集団衰弱について説明する。

11 回目：(講義) 情報の偏り ～ニュースの罫～

・要点：経済報道、技術報道、企業報道について説明する。

12 回目：(講義) 時機読解論 ～後期の掴み方～

・要点：市場の変化、技術の変化、交点の変化について説明する。

<7月25日(土)2～4限：戦略マネジメント「戦略サファリ」>

(担当：百合岡)

13 回目：(講義) 戦略形成

・要点：前回課題のフィードバック、デザイン・プランニング・ポジショニングについて説明する。

14 回目：(講義) 戦略形成における特有の側面①

・要点：アントレプレナー・コグニティブ・ラーニング、パワーについて説明する。

15 回目：(講義) 戦略形成における特有の側面②、戦略的変革

・要点：カルチャー・エンバイロメント、コンフィギュレーションについて説明し、全体を総括する。

<講義の進め方>

本講義は全15回の授業を、3回の講義を1単位とする5つのテーマに分けて構成する。各テーマでは、経営戦略を構成する主要な分野や分析視点について、理論的枠組みの整理と実務への応用可能性の検討を行いながら、3回の講義を通じて1つのまとまりとして解説する。受講生がこれまでの実務経験と講義内容を関連づけて理解できるよう、理論と事例、現実の経営課題との接続を重視しつつ、経営戦略の全体像を体系的に把握することを目指す。

講師からの講義に加えて、履修者が提出した課題に対するフィードバックを実施する。

<事前事後学習内容>

科目コード S&M021218

課題1 : 4～6回の講義内容に関連し、自身が関連する企業、または関心のある企業や業界を選定して、気づきをレポートする。

課題2 : 7～9回の講義内容に関連し、自身が関連する企業、または関心のある企業や業界を選定して、気づきをレポートする。

課題3 : 10～12回の講義内容に関連し、自身が関連する企業、または関心のある企業や業界を選定して、気づきをレポートする。

最終課題 : 講義全般を通じ、自身が関連する企業、または関心のある企業や業界を選定して、気づきをレポートする。

<予習・復習時間>

各回の予習・復習には計4時間相当かかると想定され、詳細については講義時に指示をする。

※レポートの対象とする企業などは、各回とも同一であっても支障ない。

<教科書及び教材>

教科書は指定しない。教材は毎回レジюмеなどを配布する。

<参考書>

「ベーシック+（プラス）経営戦略」中央経済社、井上達彦・中川功一・川瀬真紀編著、2019

「実践のための経営戦略論」東洋経済新報社 三品和弘、2024

「戦略サファリ 第2版」東洋経済新報社、ヘンリー・ミンツバーグ・ブルース・アルストランド・ジョセフ・ランペル著、齋藤嘉則監訳、2012

<成績評価方法>

欠席6回以上は成績評価しない。

課題：7、最終課題：3、授業への貢献：3の比率で評価する。

<課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法>

講義内において、全体・個別にフィードバックを行う。

<履修条件>

特になし

<ディプロマポリシーとの関連>

アントレプレナーシップ発揮に必要な専門的かつ実践的知識の学修に該当

<録画映像の視聴> 可

<オフィスアワー>

E-mail で事前アポイントのうえ実施する。

<その他>

毎回の講義で配布するレジюмеを用いた復習を行ったうえで、課題に取り組むことを期待する。

可能な限り、提出された課題のなかから選定して、次回講義で紹介する。講義内で紹介した場合、課題点に加算する。

変則的な日程での開講となるため、開講曜日・時限に注意すること。